

教育福祉常任委員会会議記録

1. 期 日 令和3年5月24日(月) 開会 11時30分
閉会 11時46分
2. 場 所 議事堂
3. 付議案件 閉会中の継続調査(所管事務調査)について
「二宮町の資源を生かした子どもの育成環境」
4. 出席者 根岸委員長、羽根副委員長、小笠原委員、露木委員、前田委員、
一石委員、善波議長
傍聴議員 0名
一般傍聴者 0名
議会事務局 3名 局長、課長、副主幹

閉会中の継続調査(所管事務調査)について 「二宮町の資源を生かした子どもの育成環境」

委員長 ただいまより、教育福祉常任委員会を開催する。手元に配布してある資料について確認いただく。6月議会に報告するので、3月から6月までやった内容を今回の正式委員会で確認したい。勉強会の開催日について3月26日、4月9日、4月26日、4月30日、5月10日の5回行った。内容は資料の通りである。2の経過報告概要について順不同だが①小項目の設定をした。3月議会で議決いただいたのはテーマとして二宮町の資源を生かした子どもの育成環境についてだけだったが、小項目の設定をしたところで本日皆様に不登校、あるいは不登校の前段階における子どもたちの居場所づくりというそのような言葉でよろしいかどうか。小項目の設定について、このような内容でよいのかどうか諮る。経過報告概要の②で、町の不登校対応について意見交換をした。不登校・子どもの居場所づくりのキーワードで各委員から持ち寄った資料で意見交換をした。浜須賀中へ視察に行き、委員会内で共有をし、次への動きにつなげるという内容で漏れがないかでよろしいかどうか意見を伺う。3は今後の調査としてこれでよいかということである。一つ目からだが、勉強会の開催日と内容についてはチェックをしなかったかもしれないが、このことでよろしいか。5日間の日程でこういったことを行ったということでした承いただけるか。何か足りなかったり、漏れがあるか。よさそうなので2番目だが、経過報告の概要の確認だが、小項目の設定をした。まず一つに不登校、不登校の前段階における子どもたちの居場所づくりというふうに言葉をさせていただいたが、そういうふうに小項目を設定したが、こんな言葉遣いだと違うのではないかとか意見あるか。特に無いようなので、このように小項目を設定し、進めてきたということで報告させていただく。そこに書いてあるように①の小項目を設定した理由としては、デリケートな部分がある

ものの、学校に行きづらい生活をしている本人に対し、人との関わりや社会的自立に向けた育成環境整備のため、児童生徒の時期について委員会では、まず調査とブレインストーミングを重ね、時間的区切りをつけて、現状の町の仕組みの改善や、これまでにない仕組みを設計できるのか等、研究していくことにつなげていくというふうにしたが、この設定理由と仕組みの改善や仕組みを設計できるのかなどを研究していくことにつなげていきたいという目的についてもよろしいか。

小笠原 下から 3 行目の児童生徒の時期についてという言葉がなぜ入っているのかが分かりにくい。育成環境整備のため児童生徒の時期についてとはどういう意味なのか。

委員長 不登校と言っている時点で児童生徒になっているのかと思う。少し最初のテーマが広すぎて年代を絞った書き方のつもりだった。削除したい。

小笠原 かえって誤解を招くので、児童生徒の時期についてという言葉そのものが無い方がよい。整備のため委員会でまずは調査とブレインストーミングを重ねというふうにさせていただいた方がよろしいかと思う。

委員長 了承した。

委員長 育成環境整備のため委員会で、まずは調査とブレインストーミングを重ねるところから、時間的には 2 年間かけてやるつもりはなく、いつまでと締め切りは設けていない。あるところで区切りをつけて、提案に結びつけたいということでもよろしいか。②の調査内容事項といただいた意見についてである。一つは町の不登校対応について意見をした。ヒアリングと町からのいただいた資料をもとに意見交換した。出された意見としては、対応内容について、誰もが見えるようにすること。マニュアルもあれば理想的である。現在のやまびこの場所から移動したほうがもっと通いやすい場所になるなどだ。他に自分の意見が漏れている。もっと書き足した方がよい、要らないというのがあれば出してほしい。
(「無い」との声あり)

次の調査内容事項だが、不登校・子供の居場所づくりのキーワードで各委員から持ち寄った資料で意見交換した。その結果、二宮町で検討できる資源としては、子どものための拠点づくりとして図書館、学校内、東京大学果樹園などが考えられないだろうか。公民連携のスキルアップも必要ではないか。町内の検証はまだこのことについてはこれから進めていく段階であるという内容だが間違いはないか。3 つめの調査内容事項として、茅ヶ崎市立浜須賀中学校へ議員有志で視察と委員会内で情報共有及び意見交換をした。この教室のために加配があるわけではなく先生方のやりくりによって成り立っているとなると、システムの存続がどこまで成立するか先を見据える必要もあるだろう。支援員の配置や加配状況によって町でも実現可能ではないのか。それにしても授業を行うという点では小学校で同じ仕組みというこ

とにはならないだろう。適切な人事の確保というのはネックだろう。浜須賀中では寛ぎスペースを設けるなど明るい教室づくりになっており、また、生徒の話を十分に聞くカウンセラーの人材を充てたりして本人のゴール設定を重視する姿勢を大事にしている。保護者の相談も増え、学校へ行ける雰囲気を作れている。在籍教室に足が向かずとも学校へ行く場所があるというだけでも意味のあることではないか。出席日数や成績の取り扱いなど、義務教育の責務を果たすことも考えたい。浜須賀中の取り組みは、不登校の子ども全てに対応するものではないが、二宮町でも支援の一つとして学校に行ける場所づくりについて考えていきたい。町の別室登校や学校ごとの相談対応や頻度も知りたい。浜須賀中では地域と連携した学習支援をしている。二宮町でもやっているか。浜須賀中では支援級の隣を意識して教室を設置している。二宮町での支援級と不登校の関係についての考えはあるのか。今後まだ保護者の意見を聞く機会も必要だ。ということを取り上げたが、もっと自分の主張したいことが抜けているとか、この言い方は絶対違うというものがあればおっしゃっていただきたい。

羽根 主張とかではなく、私もうっかりしていたが、丸の一番初めの茅ヶ崎市立浜須賀中学校の何をというのを入れた方が分かりやすい。校内フリースクールというふうにするのか、学校だけだと分かりづらいと思ったので入れた方がよいのではないかと考えた。

委員長 3 今後の予定について。保護者との意見交換、不登校特例校について知ること、町内フリースクールの視察を考えている。

小笠原 町内と限らず大磯にもあると思うので、町内に限定せず、近隣のフリースクールの施設であるべきだと思う。お子さんが通える範囲はできるだけ知っておいた方がよいのかと思う。

委員長 そうする。報告書にはもう少し言葉を足すので皆様にはメールのやり取りで確認させていただきたい。他に皆様から意見等あるか。

小笠原 この時点で今後の調査の件だが、保護者の方との意見交換の日程も決まっているが、ある程度具体的になっているものについては、ここで日にちを限定して言うべきということもないが、どのくらいの規模で実施する予定というあたりは知らせしておいてもよいかと思うが。

委員長 保護者との意見交換については日程調整した。今のところ6月18日12時半から場所は町民センターで委員全員と保護者が5名ぐらいを予定している。

一石 勉強開催日だが4月9日金曜日で各自からと言っているのが各委員からで、不登校対応についてのイメージ事例がよく分からないので、不登校対応についての先

進事例を抽出したものを検討とか、そういうふうにするべきかと思った。

委員長

今のような意見がさらにメールで出るようなら返信をお願いします。他に無いようなので教育福祉常任委員会を閉会する。